

世界に目を向けてみませんか そこには可能性に満ちた 教育の世界があります

2022年度(令和4年度)

第49回 全国海外子女教育国際理解教育研究大会(福島大会)

兼 第18回 東北ブロック海外子女教育国際理解教育研究大会

私たちは混とんとした未来を切り開く教育の可能性を、在外教育施設に見出しています。教育の未来について、グローバルな視点からいっしょに考えてみませんか

○大会主題 世界と子どもをひらき、つなぎ、つむぐ教育をめざして
～ネットワークでつむぐ、明日の教育～ **オンライン開催**

○日時 8月6日(土)午前10時～午後5時

午前10時 開会行事・福島県国際理解教育研究会と福島県紹介・大会基調提案

午前11時 記念講演 古家 淳(株)ルーツインターナショナル メディアディレクター

午後1時30分 特定課題分科会(全海研が発信します)

(1)第1分科会「教育のグローバル化(インターナショナルバカロレア(IB)と日本の教育の融合の視点から)」

インターナショナルバカロレア(IB)は、世界中の様々な国の国際学校を、社会に開かれた教育の視点から統合するカリキュラムです。その視点は、日本の教育の方向性と重なっています。

(2)第2分科会「コロナ渦におけるICTの活用(コロナ渦の中で海外ではどのように対応したのか)」

教育のICT化は、未来を生きる子供たちの基本的な学びを保障します。コロナ渦による急激な変化に対応した海外の実践から学びます。

(3)第3分科会「派遣体験のカリキュラム化(国際理解教育の目標による派遣体験の一般化を通して)」

在外教育施設に派遣された教員が、その体験を国内で生かすには、それなりの見直しが必要です。国際理解教育の目標から、派遣体験を再構成する取り組みを紹介します。

(4)第4分科会「日本人学校のインターナショナル校化(日本人学校のこれからの在り方)」

内向きの社会は、在外教育施設においても大きな課題です。日本が世界に通用するには、大きな意識改革が求められています。日本人学校の人的な多様性を提案します。

午後4時 トーキング・テーブル(派遣への道(現職)・シニアへの道) **海外を目指す方へ**

オンライン開催の申し込みは左下のQRコードから あるいは 全海研のホームページから

参加費 1000円



主催 全国海外子女教育国際理解教育研究協議会

主管 東北ブロック海外子女教育国際理解教育研究協議会

後援 外務省、文部科学省、海外子女教育振興財団、福島県教育委員会、福島市教育委員会

連絡先は全海研のHPへ

実践事例発表(紙面発表)も募集しています。締め切りは7月31日

詳細は、<http://www.zenkaiken.jp/httpd/html/ZENKOKU/49/2022Annai.html>